

平成 22 年 1 月 25 日
商工観光課

練馬区商店街実態調査（中間報告）要約

回答数 商店街 98(112) 商店 2,345 店(9,081) 消費者 715 人(3,000)

【商店街】 活発な商店街は 11.2%

繁栄 0% やや繁栄 11.2% 停滞 36.7% 衰退&やや衰退 41.9% 今後：現状維持か衰退
課題 個店の後継者不足 来街者の減少 商店街の組織の人材
今後取り組みたい事業 売り出しの充実・拡大
空き店舗 1 商店街平均 3 店舗 ここ 3 年変化なし 対策意向 5 割超 実施実績 5.6%
区の振興策 地域社会との交流・連携 個店対策 商店街同士の連携対策

【商店】 2/3 が従業員 3 人以下 営業年 30 年超 5 割超 20 年超で約 7 割

店舗は持ち家が約 6 割 後継者がいる 25%
継がせる意思のない店 従業員 1 人 64% 2~3 人 42%
課題 顧客の高齢化 商店街のさびれ
店の今後 現状維持 5 割超 積極展開 20.8%、縮小廃業 20.5%と二極化
店の強み 品質・鮮度 生鮮三品 59.7% その他食品 29.5% 飲食店 24.6%

【消費者】 一般商店の利用 15.7% 60 代以上の利用

利用の理由 昔なじみ 距離的に近い 品質・鮮度がいい
商店街への満足度 不満・やや不満 6 割 品揃えが課題
商店街に頑張っ欲しい 80%超 各年齢層で同傾向
商店街への応援 なるべく地元で買い物 64% 何とか応援したい 45%

【共通項目】

個店の後継者問題 商店街回答では高いが、個店側では低い
商店街活動の重要性 商店街回答では高いが、個店側では低い
売り出しの充実・拡大 商店街・消費者は高いが、個店側では低い
駐輪場対策 消費者は高いが、商店街・個店側では低い
高齢者対策・PR 充実 3 者とも必要性が一致
キーワード「高齢者対策」「地域交流」 3 者とも上位
区の支援の方向性「地域社会との交流・連携を重視」 3 者とも上位